

国語（第2回）

		得点率(%)	平均点	配点
1 説明文	問1	36.8	2.6	7
	問2	34.9	2.1	6
	問3	69.9	2.1	3
	問4	66.5	4.0	6
	問5	82.8	4.1	5
	問6	93.2	7.5	8
	問7	79.4	7.9	10
	問8	80.0	4.0	5
			34.3	
2 物語文	問1	32.0	3.2	10
	問2	94.5	4.7	5
	問3	26.6	1.1	4
	問4	22.0	2.2	10
	問5	24.4	1.0	4
	問6	17.1	0.7	4
	問7	98.1	7.8	8
	問8	93.2	4.7	5
			25.3	

一 東浩紀『弱いつながり』

問一 福島第一原発観光地化計画のねらいについて答える問題です。筆者は事故から二十五年を経たチェルノブイリ原発の現状から、福島第一原発に将来起こるであろうことを分析しています。1頁下段39～41行目にチェルノブイリ原発事故の記憶が風化するのを食い止めることができるのであれば、観光客の訪問も賛成だという内容が書かれています。1点目は「福島原発事故の記憶を風化させないため」という内容を盛り込みます。1頁上段25行目から始まる段落には、現在チェルノブイリ原発内はかなり明るい雰囲気であるにも関わらず、誤ったイメージが持たれていること、的はずれな想像を避けるためには訪れてみるべきだという内容が書かれています。また、2頁下段76行目から始まる段落に、人々に見てもらうためには情報の提示だけでなく感情の操作も必要だという内容が述べられています。2点目として「福島に対する誤ったイメージを持たないように人々の感情に訴える」という内容を盛り込む必要があります。「福島に対する誤ったイメージをただし、原発事故の記憶を風化させてしまわないように人々の感情に訴えること。」といった解答が考えられます。正答率は約37%でした。

問二 傍線部(2)の「『チェルノブイリ』という記号に踊らされていると、そういう現実が見えなくなる」とは、チェルノブイリを訪れたことがない人が、現実とは異なる想像をしているということです。筆者自身、1頁7行目「取材ではさまざまな驚きや発見」をし、今までの認識を改めているので、訪問以前の想像をまとめます。1頁上段14行目から始まる段落の内容をまとめ、無人地帯が広がっていること、インフラがないこと、1頁上段28～29行目の内容をまとめ、人々が悲壮な表情を浮かべて苦役労働を強いられていることの3点をまとめます。「無人地帯が周囲に広がり、インフラも機能せず、暗い雰囲気の中で数少ない労働者が苦役労働を強いられている場所。」といった解答が考えられます。

問三 1頁下段50行目に「傷も」とあるので、ウ「生」を選びます。正答率は約35%でした。

問四 傍線部(4)に含まれる「この」という指示語の指す内容を探します。1頁下段58～59行目に述べられているチェルノブイリ博物館の展示方法の説明の内容を用いて「方法」にうまくつながるよう、表現を整

えます。「さまざまな資料や関連情報を、デザイナーの主観のもと、文学的、芸術的に、あたかもアートワークのように展示する（方法。）」といった解答が考えられます。

問五 解答らんに合うよう語句を抜き出す問題です。1頁下段59行目に「日本でよく見られるような」という表現があるので、それに続く、「客観的で科学的な資料をできるだけ中立的に展示する（24字）」を抜き出します。どの受験生も大変よく解けており、正答率は80%以上でした。

問六 接続語を選ぶ問題です。正答率は90%以上でした。

問七 漢字の書き取り問題です。正答率はほぼ80%でした。

問八 内容一致問題です。1頁上段4～6行目に、筆者が実際に原発周辺の見学ツアーに参加し、関係者にインタビューを取ってきたことが書かれていますから、アの「やむなくキエフ市でインタビューを行った」は不適当です。イは1頁下段37～41行目の内容と合致します。したがって正解はイです。ウは1頁下段48行目に「いまの日本では、まだ事故の風化は想像されにくいかもしれません。」とありますので、「日本でもすでに福島第一原発事故の記憶は風化しかかっているのでは」という部分が不適当です。エは2頁上段74行目に「それでお客さんが来るのか。そう考えたとき、チェルノブイリ博物館のような方法があることは頭の片隅に留めて置いていい。」とありますので、「日本の博物館の集客力向上には役立たない」という部分が不適当です。正答率は約80%でした。

□ 安東みきえ『夕暮れのマグノリア』

問一 傍線部（1）の後から灯子の想像の内容が述べられています。4頁上段10行目「そうなんだ、生き物は石炭になったり石油になったりするんだ。」19～20行目「あたしはいつか石油になりたい。そうすれば、あたしがいたことにも意味ができるもの。」の2点をまとめます。「死んでから石油になって、周囲の人を温めたりして幸せにすることができれば、自分の存在に意味を見出すことができるということ。」といった解答が考えられます。正答率は約32%でした。

問二 慣用句に関する問題です。大変よくできており、正答率は約94%でした。

問三 5頁上段92～93行目「大人になっても」から、「たとえ～ても」という呼応の関係を読み取ります。正答率は約26%でした。

問四 傍線部（4）「あたし、今日はここでおりるから」と発言した灯子の心情について答える問題です。循環バスに乗り続けることは、塾の仲間に付き合っただけで状況に流され続けることを意味します。「今日はここでおりるから」という発言から、灯子は今日から新しい道を歩き出す決意をしたことが分かります。5頁上段77～80行目の内容から、灯子がこれ以上凧さんの気持ちを無視してゲームを続けることはよくないと考えたことが分かります。また、5頁下段111行目に「とちゅうまでいっしょに帰らないかな」とあるように、今日からは凧さんに寄り添う決心をしたことが分かります。以上をふまえて「流されがちであったかつての自分と決別し、凧さんに寄り添うという考えに正直になろうという気持ち。」といった解答にまとめます。正答率は約22%でした。

問五 脱文補充問題です。脱文に「そして」とあるので、何かの動作に続いて「うしろから傘をさしかけてく

れた。」ことが分かります。傘の描写が出てくるのは、バスを降りるシーン以降なので、その前後を探します。5頁下段116行目に「おりた順のまま、凜さんはあたしのあとを歩く。」の後に、突然「でも傘は重いのかどンドン角度を下げていき」という表現が現れ、つながりがおかしいことが分かります。正解は「でも傘は重」です。正答率は24%でした。

問六 灯子が塾からの帰り道に五人の女子と同じ循環バスに乗って帰っています。そのバスの中で行われるゲームに、灯子は積極的に加わっていませんが、稲妻の音とともに順番が回ってきて、参加せざるを得ない状況になっています。したがって正解はアです。イは「灯子が凜さんのこのころの痛みをはっきりと理解したことが表現されている」という部分が不適當、ウは「凜さんという獲物を狙って近づく加害者の視点」という部分が不適當、エは「またいつ雨がふるかわからないという暗示になっている。」という部分が不適當です。正答率は約17%でした。

問七 A燃える様子にふさわしいのはア「ちらちら」です。B小雨が降る様子にふさわしいのは、エ「ぽつぽつ」です。C音をたてるソーダ水にふさわしいのはウ「シャワシャワ」です。Dしずくの様子にふさわしいのはイ「ぽたぽた」です。大変よくできており、正答率は98%でした。

問八 アは凜さんが「ついにみんなの前で自分の気持ちを爆発させるに至った」という部分が誤りです。イは灯子が凜さんを「内心ねたましく思っていたため、守ってあげるふりをして傷つけるつもり」だったという部分が誤りです。灯子は自分のほんとうのバス停で

降りた結果、6頁上段130行目「そんな間のぬけた凜さんのすがたを見たのははじめてだった。」134行目「切れ長の目は、わらうとまつげが下向きになるのをはじめて知った」などのように、凜さんの新たな面を発見しています。また135行目「雨がやんでいるのに気づいたけれど、傘をたたまないでいた。」137行目「ふたり並んで傘をさし、雨のあがった町を歩きはじめた。」とあるように、凜さんもまた灯子への距離を縮めています。したがって正解はウです。エは「凜さんは裏切り者と思われてしまった」という部分が誤りです。正答率は約93%でしたが、この設問に関しましては、選択肢ウの「凜」の字に誤りがありましたので、全員正解とします。